

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 6月18日 更新

事務事業名		農地・農業用施設災害復旧事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり					所属部	事業部	課長名	富加美 尚悟	
	施策	1	危機管理・防災対策の推進					所属課	農政課	担当者名	岡田 晃治	
	基本事業	3	災害復旧対策					所属班	農地整備班	(内線)	1173	
予算科目		会計一般	款11	項1	目2	事業連番10270	法令根拠	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果				
終了、開始年度		☒ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始						事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 ～ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	農地・農業用施設等が災害により被害を受けた場合は、農林水産業の維持を図り、あわせてその経営の安定を図るために、一定の要件に該当する復旧事業については、国が経費の一部を補助又は負担する事業。
【業務の流れ】	災害の発生→被害報告→補助計画書(査定設計書)・箇所別調書の作成→査定計画→査定内容の最終確認→災害査定→事業費の決定→予算割当→補助金の交付申請→補助金の交付決定→復旧工事の着工→補助率の増高申請→補助率の決定→補助金の変更交付申請→補助金の変更交付決定→実績報告→補助金の額の決定
【主な予算費目】	11-1-1-13 委託費、11-1-1-15 工事請負費、11-1-1-3 時間外手当、11-1-1-11 消耗品等に支出される。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	水田への給水が困難となり、水稻への影響が懸念されることから、早期復旧の要望等あり。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
災害被害は農道・用排水路整備事業(事業番号:10271)にて復旧事業を行った。		次年度より農道・用排水路整備事業と統廃合。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:災害発生件数	件	次年度より農道・用排水路整備事業と統廃合。
→イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
農地、農業用施設。		→ア:復旧した農地・農業用施設の数
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
農地、農業用施設の原形復旧。		→ア:被災箇所の復旧整備率
		→イ:
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～年度
災害発生に伴うものであるため。目標については0が妥当だと考えられる。(災害は発生しないほうがいい)		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	件	44	0	0	0				
	イ									
②対象指標	ア	箇所	3	0	0	0				
	イ									
③成果指標	ア	%	100	0	0	0				
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円	2,245						
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	1,199						
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	人件 費	(A)事業費計	千円	3,444	0	0	0			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	4	4	0	0			
人件 費	延べ業務時間	時間	492	35	0	0				
		(B)人件費計	千円	2,027	141	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)		千円	5,471	141	0	0			

事務事業名	農地・農業用施設災害復旧事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度より農道・用排水路整備事業と統廃合する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 ・事業については、国の基準に従い、コスト縮減等も考慮した上で計画を立て実施している。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 次年度農道・用排水路整備事業と統廃合する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・国の補助事業によるものであり、それに基づき実施しているので、削減はできない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・事業主体が市で執行しているため、最後まで市で責任をもってやる義務があり、正職員以外での対応はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・市が管理する農業用施設については、管理義務もあり受益者負担を求めることは困難。市管理以外（農地・一部の施設）については、受益者負担をとっている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・国の法律に基づき適正に実施

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

農業用災害が発生したが、事務事業：10271の農道・用排水路整備事業により補正予算計上したため成果なし。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												